

西江通信

CONTENTS

- 1-3 現場日より「帯広広尾自動車道 芽室町
土狩大橋耐震補強工事外一連工事」
- 4 Eco Action!
- 5 採用情報
- 6 PLUS NEWS
- 7 オフショット

夏号

R 8. 7. 1

— 第28号 —

BACK
ISSUES



紙面を通じて西江建設とあなたを繋ぐ広報誌。西江の仕事・想い・働く私たちの情報をお届けします



📷 5月16日（土）に開催された「クリーンウォークとかち in 札内川」での写真。回収したごみを手に笑顔の参加者たち

現場だより - 概要 -

帯広広尾自動車道 芽室町

土狩大橋耐震補強工事外一連工事

☑ 施工場所：芽室町、清水町

☑ 施工期間：令和7年7月8日～令和9年3月25日

☑ 発注者：北海道開発局 帯広開発建設部

☑ 請負者：西江建設株式会社

☑ 請負金額：378,653,000円

☑ 進捗率：55.4%（6月末時点）

現場職員

工事部 鈴木次長
工事部 齋藤主任
工事部 杉村課員



工事概要

本工事は、土狩大橋工区と日勝大橋工区の2つの工区に分かれています。土狩大橋工区では橋の耐震補強を、日勝大橋工区では橋の補修を行います。

【土狩大橋工区について】

土狩大橋は、帯広広尾自動車道の芽室・帯広ICと、北海道横断自動車道の帯広JCTの間に位置し、十勝川に架かる全長610mの橋です。

この橋は、北海道では初めてのエクストラード・ズド橋です。エクストラード・ズド橋とは、主塔と斜めに張られたケーブルによって主桁を支える橋梁形式です。土狩大橋は、ケーブルの姿と背景に広がる日高山脈の山並みが調和した、美しい景観を持つ橋です。

また、土狩大橋がある帯広広尾自動車道は、国土強靱化対策において重要防災路線に位置づけられています。災害発生後に緊急輸送を円滑かつ確実にを行うため、本工事で耐震補強を行います。

本工事では、P4橋脚の起点側に制震ダンパー5基を設置します※。大地震が発生した際には、上部工と下部工の間に設置した制震ダンパーが地震の力を吸収し、橋の揺れや変位を抑える役割を果たします。

※令和6年度にはP1・P2橋脚において制震ダンパーを12基設置する工事を行いました。（西江通信 夏号 vol.20 に現場だよりを掲載）

【日勝大橋工区について】

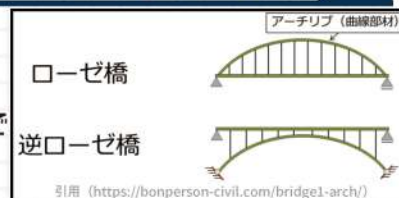
日勝大橋は、国道274号日勝峠9合目の日勝トンネルと熊見トンネルの間に位置する全長185mの橋です。

この橋は、逆ローゼアーチ橋です。ローゼ橋とは、アーチリブと補剛桁の両方で力を受け持つ構造の橋で、日勝大橋はその上路形式のアーチ橋です。橋からは十勝平野を眼下に望むことができ、清水町や新得町を見渡すことができます。今回の工事では、支承に損傷があるP1橋脚の支承2基を取り替えます。これにより、安全性を高めるとともに橋の長寿命化を図ります。

【本工事における工夫】

土狩大橋工区では、通常は非出水期（11月以降）に枠組足場で行うダンパー設置作業を、吊足場を採用することで出水期でも施工できるようにしています。これにより、工程の短縮を図っています。

日勝大橋工区では、吊足場に通路を設けることで、交通規制が必要となる作業を減らし、片側交互通行規制の日数を削減しています。日勝峠は濃霧が多い場所ですが、この工夫により作業員の安全を確保するとともに、通行する車両への影響が少ない環境づくりに努めています。



引用 (<https://bonperson-civil.com/bridge1-arch/>)

現場だより - インタビュー① -

現場の様子を見てみよう！



▲日勝大橋工区・吊足場（左上）とその内部（設置作業中）の様子。橋の下に吊足場を設置することで、河川の水位や天候に左右されにくい安全な作業空間を確保しています。



▲日勝大橋工区・橋の欄干に設置した横断幕。安全に通行していただけるよう、分かりやすい情報発信に努めています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▶ VOICE：現場代理人 齋藤宏汰さん（工事部工事課主任）



Q この現場で初めて現場代理人を務めると決まった時の率直な心境を教えてください。

1級土木施工管理技士に合格した後、こんなにすぐに現場代理人になるとは思っていませんでした。正直言うと驚きの気持ちが大きかったです。また、発注者や協力業者との打ち合わせに加え、それまで携わる機会の少なかった原価管理などの業務が自分に務まるのかという不安もありました。現在は経験豊富な鈴木次長のもとで現場代理人としての業務を学びながら、日々新しい知識や経験を吸収できることにやりがいを感じています！

Q 安全管理や品質の高さを保つために、特に意識していることや工夫していることを教えてください。

本工事はこれから本格的な施工がはじまります。高所作業が中心となるため、特に墜落災害の防止については徹底的に意識して、現場運営を行いたいと考えています。これまで現場で学んだ知識を活かしつつ、より安全で効率的な施工につながる工夫をさらに検討していきたいと考えています。まずは無事故・無災害で工事を完了させることを第一の目標とし、安全と品質の両立を図りながら施工を進めていきます。

Q 後輩の指導で心掛けていることを教えてください。

私自身、新入社員の頃に先輩たちから指導を受ける際に「なぜそうするのか」という理由とあわせて説明してもらえると理解しやすく、とても参考になったことをよく覚えています。私が後輩を指導する際にも、先輩方のやり方に倣って、作業の手順だけでなくその理由や考え方も一緒に伝え、分かりやすい指導を心掛けていきたいと思っています。

Q 建設業界を目指す学生の皆さんにこの仕事や当社の魅力についてメッセージをお願いします。

施工管理の仕事は、近年、資格取得の要件が見直され、土木系以外の学科出身者でも実務経験を積みながら資格取得を目指しやすい状態になっています。土木について詳しく知らない方でも、働きながら知識や技術を身に付けることができるので、建設業も就職先の選択肢の一つとして考えていただけたらうれしいです。また、当社は土日が休みで、祝日に出勤した場合は工事完了後にまとめて休暇を取得することができます！そのため、道外への旅行など長期休暇を取得しやすい環境が整っています。自分のタイミングでまとまった休みを取りやすいことも、当社の魅力の一つだと感じています。

現場だより - インタビュー② -

▶ VOICE：監理技術者 鈴木康貴さん（工事部次長）



Q

今回初めて現場代理人を務めているSさんの仕事ぶりや、普段どのような形でサポートをしているか教えてください。

彼は入社6年目の社員ですが、その落ち着いた様子からまるで10年選手のような雰囲気があります（笑）平成・令和を通じて最も若い現場代理人となりますが、誰に聞いても「彼なら大丈夫!」と言われるほど、周囲からの信頼が厚い若手のエースです。

これまでは技術員として出来形管理や品質管理を主に担当してきましたが、現場代理人となった今、安全管理や工程管理、原価管理など、より幅広い視点で現場を運営する立場になりました。慣れない業務に戸惑っている場面も見られますが、一つひとつのことを吸収しようと一生懸命取り組んでいます。

私としては、本人の考えや意見を尊重しながら、必要に応じてアドバイスを行い、間違いがあればしっかり伝えることでサポートしていきたいと考えています。また、分からないことを何でも聞くのではなく、まずは自分で考えた上で相談し、主体的に現場を進めていってほしいと思っています。

Q

自身が初めて現場代理人を務めた時の、印象に残っているエピソードを教えてください。

私が初めて現場代理人を務めたのは、入社10年目のトムラウシでの林道工事でした。施工自体は経験もあり大きな不安はありませんでしたが、発注者対応や原価管理、各種書類の作成など、技術員時代には担当していなかった業務も多く、大変だったことを覚えています。一方で、自分自身で現場全体をコントロールする立場となり、現場運営の楽しさや難しさを実感した現場でもありました。

また、当時の上司は山奥の現場にもかかわらず頻りに様子を見に来てくれ、様々なことを教えてくれました。時には現場作業を手伝ってくれることもあり、精神的にも大きな支えとなりました。その経験から、私も「将来は部下から頼られる上司になりたい」と思うようになりました。

ちなみに、現場周辺には毎日のようにシカやキツネ、タヌキ、時にはクマなどの野生動物が現れ、まるで天然のサファリパークのようでした。動物好きの方には魅力的な現場だったと思います。



▲現場で図面を確認する鈴木次長（左）と齋藤主任（右）日々のコミュニケーションを通じて、技術や知識を受け継いでいます。



▲令和8年6月末に定年退職を迎えた小原土木本部長（左から3番目）を囲んで、日勝大橋工区で記念撮影。小原土木本部長から託されたバトンに胸に、これからも安全第一で工事を進めていきます！



見比べてみよう！



通常時



濃霧



標高が高く年間を通じて霧に見舞われやすい日勝峠。特に夏期には、峠の清水町側を中心に濃霧が発生し、視界が悪くなる日も少なくありません。安全を最優先に交通への影響にも配慮しながら工事を進めています。

十勝川河川清掃

4月18日(土)、十勝川河川敷で当社主催の河川清掃活動を行いました。この活動は平成20年にスタートし、今年で18年目となりました。

当社から52名、協力会社から33名、新十勝大橋町内会から14名、合計99名が参加しました。当日はおよそ1時間半にわたり活動を実施し、町内会からは子ども連れのご家族にもご参加いただきました。

十勝大橋からすずらん大橋までの約2kmの区間を清掃し、タイヤやバイクなどの大型ごみをはじめ、80袋(45L)のごみを回収しました。毎年、多くの皆さまにご協力いただきながらこの清掃活動に取り組んでおります。改めてお礼申し上げます。

今後も地域の方々とともに河川環境の保全に努め、この活動を続けてまいります。



たくさんのご参加ありがとうございました!

クリーンウォークとかち in 札内川

5月16日(土)、愛国大橋を中心とした河川敷において、「第26回クリーンウォークとかち in 札内川」が開催されました。

今年の活動には約33団体、約530名が参加しました。当社からは13名(西江建設(株)として11名、NPO法人十勝多自然ネット※1として2名)がボランティアとして参加しました。

※1 当社社長が理事長を務め当社社員も参加する特定非営利活動法人NPO(Non Profit Organization)



花壇造成

5月29日(金)、本社周辺の花壇造成を行いました。この活動は平成14年から地域美化を目的に取り組んでおり、今年で24回目となりました。新十勝大橋町内会の皆さまをはじめ、近隣の北洋道路(株)、三和警備(有)、(株)SWATTの皆さまと協力し、北1丁目線周辺(西2条~西5条までの約450m)の花壇に1,700本の黄色のマリゴールドと、赤色・青色2色のサルビアを植栽しました。

長く花壇を楽しんでいただけるよう、追肥や必要に応じた散水を行うほか、毎月末には本社職員総出で草取りを実施しています。

また、抜き取った雑草は米ぬかなどを混ぜて堆肥として再利用しています。植栽前の花壇にこの自家製堆肥を混ぜ込むことが、美しい花壇づくりの秘訣です。



採用情報

夏期インターンシップ～じっくり体験型 5DAYS～

当社では、毎年8月に5日間のインターンシップを実施しています。昨年は北海道科学大学・札幌工科専門学校の学生が参加してくれました。

会社ガイダンスをはじめ、十勝管内で施工中の現場の見学を通して、私たちの仕事である「施工管理」について理解を深めることができます。

さらに、当社が導入している最先端のICT機器を活用した測量実習も実施しており、建設会社の仕事をじっくり体験していただけます。「入社したらどのように働くのか」を具体的にイメージできる内容となっています。

「ひとりで参加するのは不安…」という方もご安心ください！ご友人同士での参加も大歓迎です。皆さまからのご応募をお待ちしております。

西江のインターンシップ ココがイイネ!



- ★ 1年生から参加OK!
- ★ 日当7,000円支給!
- ★ 交通費、実費支給!
- ★ 朝夕食付宿泊ホテル手配!
- ★ 友人同士での参加も大歓迎!

お申し込みは
こちらから!



▲ マイナビ 2027



▲ 西江建設ホームページ

カリキュラム

Day-01

会社案内・業務内容の概説・受注～完成までのプロセス、技術者の仕事についてガイダンス、測量体験



Day-02

十勝管内で施工中の工事現場へ赴き見学



Day-03

施工中の現場で施工管理業務の実習、工程打合わせ会議に参加



Day-04

前日に引き続き施工中の現場で施工管理業務の実習、ICT機器(測量用ドローン等)を用いた測量実習



Day-05

管理書類等の作成実習、実習報告書の作成、先輩社員との座談会



消防訓練

6月15日(月)、本社において消防訓練を実施しました。これは、本社ボイラー室で火災が発生した場合を想定し、職員の防災意識と安全意識の向上を目的として毎年実施している訓練です。当日は本社職員23名が参加しました。

訓練では、初期消火や119番への通報、煙体験ハウスを用いた避難、水消火器を用いた消火訓練を実施し、火災発生時の初動対応について学びました。

五十嵐防災(音更町)の担当者から火災報知設備の使用方法について指導を受けたほか、帯広消防署の救急救命士による約2時間の救命救急講習を受講しました。

講習では、マネキンを使用して心肺蘇生法や人工呼吸、AEDの使用方法を実践的に学び、防災・救命に対する意識を高める機会となりました。



▲煙体験ハウスを通過する職員。火災時における煙の危険性と避難時の注意点を学びました。



▲消火器が初体験の新入社員。消防署職員から使用方法を指導いただきました。



▲マネキンを用いた心肺蘇生法の実技講習



▲練習用AEDで使用方法を学ぶ職員

十勝川イカダ下り

来る7月5日(日)、十勝の夏の風物詩である「第54回十勝川イカダ下り」が開催されます。

十勝大橋を出航し、約2時間かけてゴールの十勝川温泉中央大橋を目指します。参加者は雄大な自然を感じながら、ゆったりとした川下りを楽しめます。

参加者たちが製作したオリジナルイカダは、毎年個性豊かな力作ぞろいです。ゴール地点(十勝川温泉中央大橋下の河川敷)には多くのキッチンカーも集まりますので、ぜひ遊びにきてください♪

当社はFIFAワールドカップ2026をモチーフにした「にっくん JAPAN号」で参加します。日本代表さながらに、私たちが十勝川を颯爽と駆け抜けます!



十勝川イカダ下り
マスコット
イカぼお

※背番号の答えは「に(2)し(4)え(8)」の数字語呂合わせでした♪

オフショット - 社員親睦会 -

Bowling



西江建設では、毎年4月に新入社員歓迎を兼ねたボウリング大会と、5月にパークゴルフ大会を実施しています。本社勤務の職員と、現場で働く職員の交流を目的に、現場が本格的に稼働する前の恒例イベントとなっています。



Park Golf



スケジュール

- 7月 5日(日) 第54回 十勝川イカダ下り
- 7月 20日(月) 「海の日」のため休日
- 8月 8日(土) 夏季休業 (9連休)
- 8月 16日(日)
- 9月 21日(火) 「敬老の日」のため休日
- 9月 23日(水) 「秋分の日」のため休日
- 9月 30日(水) 次回「秋号」発行予定

元気にすこすこ！
熱中症対策



SNS

YouTube



Instagram



WebSite

